

動物とふれあう 意義とその効果



教育随想

岡崎市獣医師会
会長 石原 和幸 氏

人々の傷ついた身体と心の回復に動物の存在が有効であるという多くの事例や研究があり、子供たちの人格形成や学習意欲の向上にも重要な教育的手法の一つと考えられています。まず、情緒及び社会性の発達に対する影響があげられます。小学生を対象に、獣医師会は獣医師・保護者の協力のもと、ウサギ・モルモット・犬などのふれあい活動を実施しています。この活動は、動物に対する恐怖心を克服し、親しみや共感を深め、協調性や教室内の良好な人間関係の形成に寄与しています。また、動物介在活動の一つであるR.E.A.D.(Reading Education Assistance Dogs) プログラムでは、犬に読み聞かせをすることで、児童の読書意欲やコミュニケーション能力の向上が確認されています。このような動物を媒介とする教育的アプローチ「動物介在介入」は、

学習意欲の向上や科学的な観察力、表現力の涵養に寄与しています。さらに、発達及び行動面に関する効果も見逃せません。スクールドッグを活用した学校では、長期欠席児童の登校意欲が回復し、自己肯定感や社会性の向上が見られる事例が報告されています。加えて、動物とのふれあいは、生理的リラクゼーション効果をもたらし、心拍数や血圧の安定、「幸せホルモン」として知られるオキシトシン分泌を促進し、ストレスの緩和等が報告されており、子供たちの心身の安定にも効果があるとされています。

こうした活動の実施には、動物福祉の尊重と、衛生管理及びアレルギー等への十分な配慮も重要です。動物を通して、命と関わる教育が子供たちの特性や能力を伸ばし、情け深く育っていくことは大切なことです。そのために、教職員、獣医師、保護者及び地域が連携し、動物福祉と教育的意義の両立を図り、質の高い実践が推進され、子供たちが命と豊かに向き合える環境を作ることが、我々獣医師の使命だと考えております。

(いしはら かずゆき)



令和7年8月1日

8月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
岡崎市獣医師会
会長 石原 和幸 氏
- この人に聞く…………… 2
現代の名工・あいち技の伝承士
岩瀬 幸博 氏
- 羅針盤…………… 2
城南小学校
校長 二村 久
- ふれあい…………… 3
北中学校
教諭 杉浦 功宜
- 特集…………… 4
学校教育を支える温かい『手』
スクールサポートボランティア(SSV)
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
なかよしトンネルの清掃
(昭和四十九年)
- この本を…………… 8



自ら技を極め、未来につなぐ

現代の名工：あいち技の伝承士

岩瀬 幸博 氏

小さいころからのづくりが好きだった建築大工の岩瀬さん。指矩さしこを使う卓越した技術で令和五年に黄綬褒章を受章した。現在は、その技を生かして小学生から高校生までの子供たちにもづくりを指導している。優れた技術や実績はどのようにして築かれてきたのか。

—黄綬褒章を受章するほどの技術はどのようにして磨いたのですか—

建築大工としての技術を高める機会を、自ら求めて行動してきました。高等学校を卒業後、大工として働き始めたのですが、当時は親方の技術を見て学ぶしかありませんでした。一年ほど働いたころ、知り合いが建築技能を身に付ける訓練校に通っていることを知りました。私も技能を

高めたいと思い、授業料を自分で払って通いました。せっかく入学したならトップになりたいと目標をもち、勉学に励み、技術を高めました。しかし、卒業すると学ぶ機会は減ってしまいます。そこで、訓練校の担任の先生が教えてくださった技能士の資格をとろうと、働きながら勉強をしました。技能士の試験は、指矩を用いて木造建築の複雑な角度や形状を正確に測る「規矩術きこくじゆつ」という伝統的な技術が必要となります。その難易度は高く、学んでも思うようにいかないことが何度もありました。だからこそ、夢中になって挑戦し続けました。その結果、技能士の一級をとることができました。若いときに身に付けたこの技術が、今、技の伝承士としての仕事につながっていると感じています。

—指導をする子供たちにどのようなことを伝えていますか—

一つ目は、自ら学ぶことの大切さです。私が二十五歳のとき、神輿みこしを作る仕事がありました。経験のないことだったので、図面をかくことさえできませんでした。そこで、実際に神輿を作ったことがある方の自宅を訪ね、一から教えていただきました。自ら出向いたときの方が、学ぶ意欲が高まることを実感しました。この経験から、今教えている子供たちが自ら質問に来たそのときを大切にしています。

二つ目は、好きなことを見つける大切さです。私自身、ものづくりが好きだからここまで働くことができた。人は誰でも自分がどのような将来を歩んでいくのか、悩むときが来ると思います。そんなときには、「自分の好きなことは何かを考えてごらん」と伝えていきます。今私がしている活動も、子供たちが好きなことを見つける一つのきっかけになればと思っています。

—今後の目標を教えてください—

私が身に付けてきた技術を次の世代の人たちに伝えていきたいです。若いときは、自分が技を極めることに達成感を感じていましたが、今は、教え子の成長に喜びを感じるようになってきました。教え子の中に、職の道に進み、私が教えたことをさらに次の世代に伝えていく子もいます。私でなくても確かな技術が世代を越えて伝わっていくことが理想です。建築工事でも自動化・機械化が進んでいます。素材を生かしたものづくりや、歴史ある家財の修理など、人だからこそできるこの技術を伝えていきたいと思っています。



氏名 いわせ ゆきひろ
生年月日 昭和三十三年
一月二十一日
住所 岡崎市東明大寺町



学びを委ねる

城南小学校

校長 二村 久

十一月、今年も岡崎ラリージャパンがやってくる。細い額田の山中を何度も走ったかのように道をトレースして猛スピードで走り抜ける。ここで重要な役割を果たすのが、助手席のナビゲーターだ。コース情報のノートを持ち、運転者に的確にアドバイスを送る。

子供たちも、毎日、授業というコースに出る。自分で学ぶコースを選択し、学びに向かい始める。教室は静まり返り、先生は困っている子を比較的容易に見え、サポートもいち早くできる。このとき、先生は指導者から伴走者へ変わる。まさにナビゲーターの役割を果たす。

「個別最適な学び」を実現していくには、一斉授業から脱却し、子供に学びを委ねることが必要になる。学びを委ねている時間は、教師が想像していた姿とは違う子供の姿を目



子供の思いに共感する

北中学校

教諭 杉浦 功宜

Aさんは、二学期に入ると、始業に遅れたり、体調不良を訴えて、部活動にも行かなかつたりする日が多くなっていた。このまま見守っているだけでは、Aさんの学校生活が充実したものにはならないと感じた。そのため私は、規則正しい生活を送ったり、決められたことを守ったりするよう助言をした。しかし、助言を重ねてもAさんの生活はなかなか改善されなかった。

ある日、保健室に足を運ぶと、Aさんの姿があった。Aさんは私の顔を見ると、気まずそうな表情をした。私が、「どうしたの」と尋ねると、Aさんは驚いた様子を見せた。私は、「何か困っていることがあるんじゃないかな。どうか」と続けると、Aさんは自分が抱えている悩みをゆっくりと話し始めた。私は、複雑

な悩みを素直な言葉で伝えてくれたAさんに対して、どのような言葉をかければよいのか悩んだ。しばらく言葉を探したが、「Aさんも大変なんだね」としか言葉がかけられなかった。何の助言もできなかった。しかし、Aさんの反応は私の予想とは違っていた。その日の授業後、Aさんの一日の振り返りを見ると、「先生、話を聞いてくれてうれしかったです。もう少し頑張ってみます」と書かれていた。私は、今までAさんの気持ちに寄り添えていなかったのだと反省すると同時に、Aさんが私に少し心を開いてくれたと感じられ、とてもうれしい気持ちになった。

このことがあってから私は、Aさんの課題を指摘し、改善させようとするよりも、まずはAさんの思いや考えに共感することが最善だと考えるようになった。そこで、もっとAさんを理解しようと積極的に声をかけるようにした。

ある日の休み時間、友達と一緒にいるAさんに声をかけると、給食の献立の話になった。友達が、「コロツケはご飯に合わないよね」と言うので、Aさんは、「え、コロツケでご飯めっちゃ進むじゃん」と弾む声で答えた。私は、「Aさんは食いしん坊だなあ」と返した。Aさんは顔を赤らめながらも笑みを浮かべていた。Aさんとの何気ない日常の会話が増えると、Aさんの素敵な笑顔をたくさん見る

ことができるようになった。

あるとき、「先生、生活委員に立候補したいです。でも自信がなくて」と、Aさんから相談しにきてくれた。少しでも力になりたいと思った私は、「頼ってくれたことがうれしいよ。自信がないっていうのは、どういうことかな」と尋ねた。Aさんは、二学期最初の頃の自分の様子について話してくれた。私は、「Aさんの立候補したい気持ちは、みんなに伝わるよ。Aさんならできるよ」と背中を押した。学期の初めにはAさんの中に入っていかなかった私の言葉が、今はAさんの心に届いていることを感じた。

Aさんは後期生活委員を務めた。「先生が、不安でいっぱいだった私を励ましてくれたから、自信になりました」と嬉しそうに話すAさんの笑顔を見て、私も笑顔になった。



にすることになる。それは、予想を上回る有能な学び手としての子供の姿である。また、同時に、困り感を抱える子供の姿もよく見えてくる。

実践してみたけれど、「今の学級では難しい」と、数回実践して止めてしまっただけでは、自ら学びに向かう力は身に付きにくい。最初からできる子供はいない。できる範囲で委ねることを続けていけば、子供に変化が見られるようになり、教師は子供たち一人一人の学びの特性を見取ることができるようになる。すると、その子に合った支援の方法が徐々に見えてきて、子供に学びのハンドルを握らせることができ、子供は小さいながらも主体的に学びを進めることができるのである。繰り返し繰り返し実践することで、主体性が徐々に育ち、自立した学習者としての土台ができてくると考える。

二学期、「チーム学習10のエッセンス」をバイブルとして、勇気をもって「学びを委ねる」ことに取り組んでみてはどうだろうか。徐々に子供の特性を見取ったその子なりのコース情報（学びに関する特性情報）ができ、私たち教師は子供をナビゲートし、よき伴走者として、成長のチャートをつかむことができるのではないだろうか。

今年も二人で車を操る岡崎ラリージャパンが楽しみである。



▲自転車サークル（竜美丘小）

▲登下校支援（北野小）

学校教育を支える温かい『手』

スクールサポートボランティア (SSV)

スクールサポートボランティア（SSV）の活動は、地域の方々や保護者の協力のもと、学校教育を地域全体で支えることを目的とし、多くの学校で行われている。岡崎市では令和6年度、小中学校合わせて、のべ三万四千〇一名の参加があった。

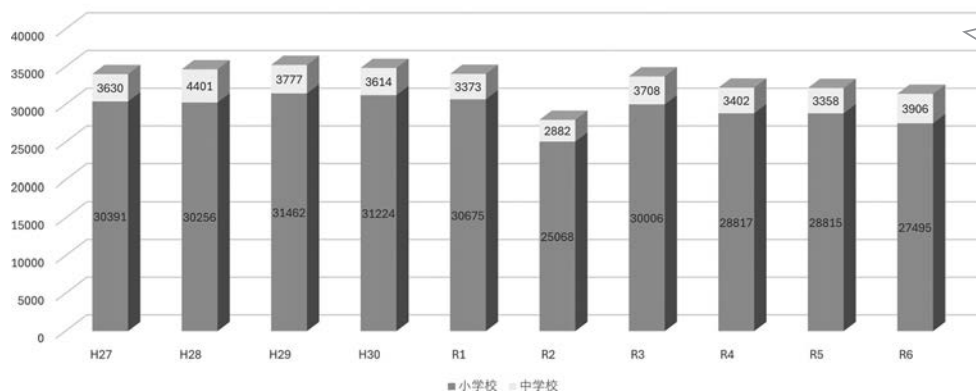
SSVの活動は、学校内外と多岐にわたる。

- ◆学習支援
 - ・ 特色ある地域の学びなど
- ◆部活動支援
- ◆読み聞かせ
- ◆登下校支援
 - ・ 交通安全パトロール
 - ・ 登下校見守りなど
- ◆環境整備
 - ・ 校内の清掃や草取り
 - ・ 花壇作りなど
- ◆行事支援
 - ・ 運動会、学芸会などの準備や当日の運営
 - ・ 造形おかしきつ子展設営準備

様々な支援によって、子供たちの多様な活動が可能となり、学校生活の充実につながっている。また、地域の大人から見守られているという安心感は、子供たちの社会性も育てていく。

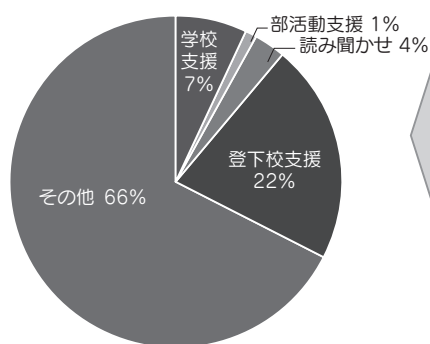
子供たちにとって、地域の大人と関わる機会は、貴重な学びの一つとなっている。スクールサポートボランティアの方々の温かい協力によって、学校がよりよい学びの場となっていく。

SSV総数の推移



過去10年間の中で、3万を切った年は、令和2年であり、新型コロナウイルス感染症の影響だと考えられる。しかし、翌年には、また3万を超える数となり、状況に対応しながら、活動を続けていったことが伺える。

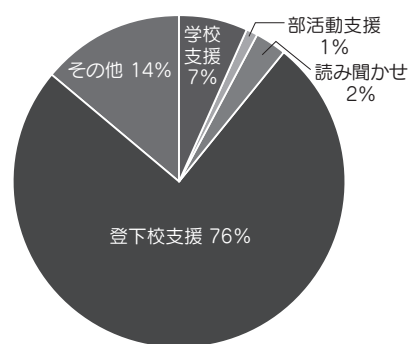
令和6年度 中学校SSVの内訳



小学校では、SSVの約8割が登下校支援となっている。通学班で登下校をする小学校を地域全体で見守ろうと多くの方が力を貸してくださっている。

中学校では、その他の割合が約7割となっている。その他の主なものは、学校行事の準備や運営・教育環境整備・資源回収など多岐にわたる。

令和6年度 小学校SSVの内訳



学習支援(地域からの学び)



▲クラブ活動支援 (六ツ美西部小)



▲地域の歴史授業 (連尺小)



▲読み聞かせ (男川小)



▲ちゃらぼこ太鼓指導 (細川小)



▲愛鳥活動サポート (生平小)

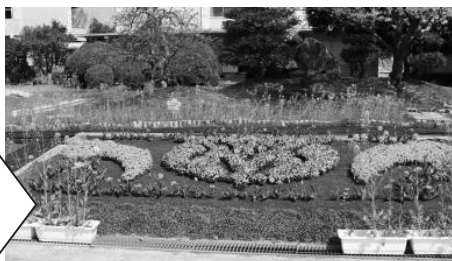


▲若鮎放流 (宮崎小)

環境整備



▲花壇整備 (六ツ美中部小)



▲校内除草作業 (東海中)

行事支援



▲運動会に向けたホタル音頭練習 (美合小)



▲暁天かけ足 豚汁作り (城北中)



▲造形おかざきっ子展搬入 (岩津中)

SSVの活動を通して

【地域の方、保護者の声】

- ・交通安全の見守り時に、明るく挨拶をしてくれる子供たちに元気をもらいました。
- ・SSVに参加し、子供たちの笑顔が見られるとうれしくなります。

【教職員の声】

- ・普段の清掃では手が行き届かない場所をきれいにしてくださって、本当に助かりました。
- ・子供たちは、読み聞かせの時間を毎回とても楽しみにしています。

【子供たちの声】

- ・安全に登下校できるように、いつも見守ってくださり、感謝しています。
- ・地域の方がいろいろと教えてくださり、授業が楽しいです。



○個人の部
3位 大門小 児玉 葉奈

3位 竜美丘小

○団体の部

車愛知県大会

◆第59回交通安全子ども自転車

特選 形埜小

○学校林等活動の部

ンクール

◆令和6年度学校関係緑化コンクール

2位 北中 天野 翔太

○男子四種競技

会

◆愛知県中学校選抜混成競技会

●表彰



第69回 岡崎市中学校総合体育大会

団体結果

種 目	性	優 勝	2 位	3 位	種 目	性	優 勝	2 位	3 位
陸 上 競 技	男	六美北	岩 津	六ツ美	ハ ン ド ボ ー ル (女子はオープン競技)	男	岡崎CENTRAL	岡崎WEST	岡崎NORTH
	女	矢作北	甲 山	竜 海		女	高 浜		
バスケットボール	男	城 北	葵	甲 山	軟 式 野 球		幸田南	葵	城 北
	女	矢作北	六ツ美	福 岡			軟式野球競技は、協会の中日少年野球大会予選との共催です。岡崎市総合体育大会の順位は、葵中が優勝、城北中と竜海中が第2位となります。		
バレーボール	男	矢作北	矢 作	竜 南	ソ フ ト ボ ー ル	女	岡崎NORTH	岡崎WEST	
	女	矢作北	六ツ美	東 海		男	岡崎WEST		
ソ フ ト テ ニ ス	男	甲 山	河 合	翔 南	柔 道		団体戦は実施せず		
	女	矢 作	北	竜 南					
卓 球	男	矢作北	六ツ美	葵	サ ッ カ ー	男	竜 海	竜 南	翔 南
	女	矢作北	北	竜 海		女	幸田北B	幸田北A	岡崎 I A
剣 道	男	六美北	矢 作	翔 南	弓 道 (オープン競技)	男	幸田北C	岡崎 I A	幸田A
	女	矢 作	北・常磐	翔 南		女			

陸上競技

タイ…タイ記録

	種 目	氏 名	校 名	記 録
男子	100m	澤 碧人	六美北	12"06
	200m	平岩 陸斗	附 属	23"16
	400m	渡邊 拓実	岩 津	52"77
	800m	柵木 快心	六美北	2'01"56
	2年1500m	柵木 壱心	六美北	4'32"86
	3年1500m	柴田 壮舞	六ツ美	4'32"08
	3000m	長友 壱汰	葵	9'35"26
	110m H	天野 翔太	北	16"57
	400m R	清川・高橋 渡邊・立田	岩 津	タイ 44"39
	走 高 跳	石黒 誠悟	竜 南	1m75
	棒 高 跳	河合 悠季	六美北	3m00
	走 幅 跳	森本 獅生	常 磐	6m05
女子	砲 丸 投	清水 陸功	南	11m21
	100m	原 芽咲	新香山	12"42
	200m	川瀬 彩葉	竜 海	27"66
	800m	矢野 萌花	矢作北	2'23"60
	1500m	佐野伊桜里	竜 南	4'59"97
	3000m	中根 希翠	美 川	10'37"43
	100m H	横井 心菜	城 北	15"10
	400m R	久谷・川上 白石・原	新香山	51"96
	走 高 跳	森田 あお	甲 山	1m55
	走 幅 跳	近藤 彩	甲 山	5m04
	砲 丸 投	鈴木 万結	翔 南	11m62

柔 道

	階 級	位	氏 名	チーム名
男子	軽 量	①	小笠原 新	岡崎WEST
		②	渡辺 凌伍	岡崎WEST
		③	深堀 裕二	岡崎EAST
		④	杉浦 悠悟	岡崎WEST
	軽中量	①	岩月 颯真	岡崎WEST
		②	田中 瑛大	岡崎WEST
		③	作田 海音	附 属
		④	岸本 武士	岡崎WEST
	中 量	①	梅村拳史郎	岡崎WEST
		②	山内りゅう	岡崎EAST
		③	清水 拓翔	岡崎WEST
		④	河合 諒真	岡崎WEST
	重 量	①	太田 匠政	岡崎WEST
		②	大城 響弥	岡崎WEST
		③	上村 慶志	岡崎EAST
		④	藤田 大輝	岡崎EAST
女子	軽 量	①	西村 凜	岡崎ALL
		②	清水 花	岡崎ALL
		③	笹島 沙月	岡崎ALL
		④	天野 惺菜	岡崎ALL
	軽中量	①	森山 咲笑	岡崎ALL
		②	岡崎 真子	岡崎ALL
		③	小倉 璃子	岡崎ALL
		④	山本 心愛	岡崎ALL
	中量	①	前田しおり	岡崎ALL
		②	井田 新菜	岡崎ALL
		③	山内 萌々	岡崎ALL

~~~~~ 第78回 岡崎市中学校市長杯総合体育大会 兼 西三河中学校選手権大会岡崎・幸田支所予選会 ~~~~~

団体結果

| 種 目      | 性 | 優 勝 | 2 位 | 3 位 |     | 種 目     | 性 | 優 勝       | 2 位     | 3 位     |        |
|----------|---|-----|-----|-----|-----|---------|---|-----------|---------|---------|--------|
| 陸 上 競 技  | 男 | 六美北 | 南   | 岩 津 |     | 剣 道     | 男 | 矢 作       | 六美北     | 翔 南     | 竜 海    |
|          | 女 | 甲 山 | 矢作北 | 新香山 |     |         | 女 | 矢 作       | 竜 海     | 六美北     | 翔 南    |
| バスケットボール | 男 | 六美北 | 城 北 | 葵   | 甲 山 | ハンドボール  | 男 | 岡崎CENTRAL | 岡崎WEST  | 岡崎SOUTH |        |
|          | 女 | 矢作北 | 幸田北 | 福 岡 | 六美北 | 軟 式 野 球 |   | 竜 海       | 幸田南     | 翔 南     | 幸田北    |
| バレーボール   | 男 | 矢作北 | 矢 作 | 竜 南 | 幸 田 | ソフトボール  | 女 | 岡崎WEST    | 岡崎NORTH | 幸 田     |        |
|          | 女 | 矢作北 | 常 磐 | 六美北 | 六ツ美 | 柔 道     | 男 | 岡崎WEST    |         |         |        |
| ソフトテニス   | 男 | 河 合 | 甲 山 | 翔 南 | 南   | サ ッ カ ー |   | 竜 海       | 竜 南     | 南       | 甲山・新香山 |
|          | 女 | 矢 作 | 幸田北 | 甲 山 | 幸 田 | 弓 道     | 男 | 幸田北C      | 幸田南A    | 幸田北B    |        |
| 卓 球      | 男 | 幸田南 | 幸田北 | 矢作北 | 幸 田 |         | 女 | 幸田南A      | 岡崎 I A  | 幸田南B    |        |
|          | 女 | 北   | 竜 海 | 幸田南 | 矢作北 |         |   |           |         |         |        |

陸上競技

|    | 種 目      | 氏 名            | 校 名 | 記 録      |
|----|----------|----------------|-----|----------|
| 男子 | 100m     | 佐野 蒼基          | 美 川 | 11"60    |
|    | 200m     | 清川 龍昇          | 岩 津 | 23"51    |
|    | 400m     | 渡邊 拓実          | 岩 津 | 52"01    |
|    | 800m     | 尾田 祥太          | 南   | 2' 01"16 |
|    | 1500m    | 坂井 俊太          | 福 岡 | 4' 15"99 |
|    | 3000m    | 大竹 翔貴          | 六ツ美 | 9' 37"87 |
|    | 110m H   | 田井中大和          | 竜 海 | 15"47    |
|    | 4×100m R | 清川・渡邊<br>吉見・立田 | 岩 津 | 44"74    |
|    | 走 高 跳    | 石黒 誠悟          | 竜 南 | 1m70     |
|    | 棒 高 跳    | 河合 悠季          | 六美北 | 3m10     |
|    | 走 幅 跳    | 佐藤 暖真          | 南   | 5m81     |
|    | 砲 丸 投    | 清水 陸功          | 南   | 10m87    |
| 女子 | 100m     | 原 芽咲           | 新香山 | 12"81    |
|    | 200m     | 清水 明           | 矢 作 | 27"18    |
|    | 800m     | 山口 奈優          | 矢作北 | 2' 25"50 |
|    | 1500m    | 佐野伊桜里          | 竜 南 | 4' 52"57 |
|    | 100m H   | 永山 ねね          | 竜 海 | 15"04    |
|    | 4×100m R | 柴田・永山<br>朝倉・川瀬 | 竜 海 | 51"43    |
|    | 走 高 跳    | 森田 あお          | 甲 山 | 1m50     |
|    | 走 幅 跳    | 近藤 彩           | 甲 山 | 4m97     |
|    | 砲 丸 投    | 鈴木 万結          | 翔 南 | 11m63    |

個人競技（1位のみ）

| 種 目    | 男 子   |     | 女 子   |     |
|--------|-------|-----|-------|-----|
|        | 氏 名   | 校 名 | 氏 名   | 校 名 |
| 弓 道    | 横井 青葉 | 幸田南 | 古藤 美空 | 幸 田 |
| ソフトテニス | 原田・水野 | 甲 山 | 深田・太田 | 矢 作 |
| 卓 球    | 岡本 俊澤 | 竜 海 | 小堀 栞奈 | 南   |
| 剣 道    | 重富 晴陽 | 矢 作 | 古田 美朋 | 矢 作 |

柔 道（1位のみ）

|    | 階 級   | 氏 名   | チーム名   |
|----|-------|-------|--------|
| 男子 | 50kg級 | 小笠原 新 | 岡崎WEST |
|    | 55kg級 | 田中 瑛大 | 岡崎WEST |
|    | 60kg級 | 岩月 颯真 | 岡崎WEST |
|    | 66kg級 | 作田 海音 | 附 属    |
|    | 73kg級 | 豊里 勇人 | 岡崎WEST |
|    | 81kg級 | 清水 拓翔 | 岡崎WEST |
|    | 90kg級 | 太田 匠政 | 岡崎WEST |
| 女子 | 44kg級 | 笹島 沙月 | 岡崎ALL  |
|    | 52kg級 | 岡崎 真子 | 岡崎ALL  |
|    | 57kg級 | 森山 咲笑 | 岡崎ALL  |
|    | 63kg級 | 大塚 望美 | 岡崎ALL  |
|    | 70kg級 | 鄒 雨辰  | 附 属    |

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

| 相談窓口               | 電話番号         | 相談受付日時                                     | あいちこころのサポート相談（SNS）                  |  |
|--------------------|--------------|--------------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 岡崎市教職員相談ダイヤル       | 0564-64-3322 | 火曜日～金曜日 12:00～19:00<br>土曜日 12:00～16:30     | LINE<br>友だち追加・ID検索<br>@aichi_soudan |  |
| あいちこころのサポート相談（SNS） | 右QRコード       | 月曜日～土曜日 20:00～24:00<br>日曜日 20:00～翌月曜日 8:00 |                                     |  |
| 愛知県総合教育センター教育相談    | 0561-38-2217 | 月曜日～金曜日 9:00～17:00                         |                                     |  |
| あいちこころのホットライン365   | 052-951-2881 | 年中無休 9:00～20:30                            |                                     |  |
| 愛知いのちの電話           | 052-931-4343 | 年中無休 24時間                                  |                                     |  |



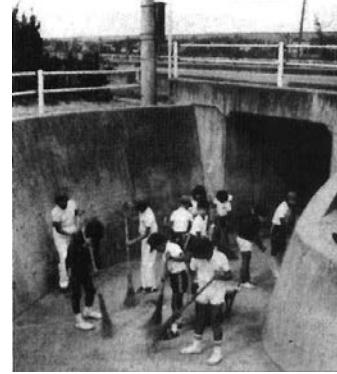
## なかよしトンネルの清掃 (昭和四十九年)

写真提供：美合小学校

児童が安全に登校できるようにと国道一  
号線をくぐるように造られた地下道、通称  
「なかよしトンネル」。完工後、児童が清  
掃活動をしている様子である。

美合小の多くの児童は、国道一号线を横  
断して登校していた。一号线の交通量が増  
えるに従い、横断中の危険が増したため地  
下道が造られた。登下校の際は、地域の人  
や自転車を通りやすいよう児童は一列で歩  
き、学区みんなの「なかよしトンネル」と  
して大切に利用している。

岡崎市では、地下道を通る通学路が十七  
カ所あり、児童の安全に寄与している。安  
全を願う社会。その一員である児童の公共  
心を育む教育を行っていききたい。



＊「教えない」から学びが育つ 山本 崇雄  
ウェッジ ￥1,900

### 心に残った一文

本当に大切なのは「教えること」ではなく、  
気づきを与えることです。

子供のためにと、授業や行事などの準備を  
念入りに行う。熱心さのあまり、そのすべて  
を伝えようとして教えずぎてしまうと、与え  
られるのを待っていたり、自分の問題と認識  
せずに他人任せにしたりする子供に育ててし  
まう危険がある。

なぜ行うのか、どんな成長を目指すのかと  
いう目的を明確にし、子供を信じて任せるこ  
とが、主体性を育む鍵となる。

自分で考えて行動する中で得た「そうか」  
「こうするとよいかも」という気づきが、次  
の行動への原動力となる。そして、自分で得  
た気づきを基にした行動は、わくわく感を伴  
い、力強く、継続する。

＊「好き」を言語化する技術 三宅 香帆  
ディスカヴァー・トゥエンティワン ￥1,200

＊フランス人記者、日本の学校に驚く 西村カリン  
大和書房 ￥1,600

＊読解力は最強の知性である 山口 拓朗  
S Bクリエイティブ ￥1,600

緑丘小学校 後田 和紀

歩道には、横断する子供たちを見守る交通安全  
パトロールの方がいる。教室には、優しく子供た  
ちに語りかける読み聞かせボランティアの方がい  
る。その温かな「手」は、子供たちの笑顔と学びを  
支える大きな力となっている。学校と地域が連携  
し、共に子供を守り育てていきたい。

床の間に飾られた数々の賞状は、岩瀬  
さんが築いてきた実績を物語っている。

しかし、その賞状よりも輝いていたのは、ご自身  
の経験や教え子の活躍を嬉しそうに語る岩瀬さん  
の表情だ。ものづくりが本当に好きだということ  
がひしひしと伝わってきた。私たち教員も、岩瀬  
さんのような表情で子供たちの前に立ちたい。

ど ホ

ッ

葉 目



▲体育大会に向けて学級旗作り

ツバメの巣から雛の姿が見えなくなった。巣立  
ち後は、未熟ながらもたくましく生きていくそう  
だ。そして、大きく育つと、また帰ってくる。夏  
休みで空っぽの校舎の外には、部活動や好きなこ  
とに打ち込む子供たちの姿がある。二学期、一回  
り大きくなって教室に戻ってくる子供  
たちとの新たな日々が楽しみだ。